

学校教育目標

自ら考え、行動する、心豊かなたくましい錦生の子を育てる

学校経営ビジョン

- ・生き生きと学び合いのある楽しい学校
- ・子ども・保護者・地域・教職員相互の信頼関係のある学校
- ・地域に開かれた学校

(1) めざす学校像

(2) めざす児童像

1	すすんで学び、よく考え行動する子	2	互いのよさを認め合い、思いやりのある子
3	健康でたくましい子		

重点的な取組事項

①自分の考えをもち、意欲的に伝え学び合える授業に取り組む。
(児童アンケートで「友だちの意見をしっかり聞け」、「進んで発表ができる」と全員の子どもが答えられる。)
(自分の考えをもち、意欲的に発言していける場を大事にした授業ができた。教職員評価4以上)

②自分のよさに気づき、互いに認め合い、ともに活動できる場を生かした活動に取り組む。
(自分アンケートで「縦割り班活動」「全校集会」「学級活動」等に全員の子が満足感をもてる。)
(自分のよさに気づき、互いに認め合い、ともに活動できる場を生かした活動に取り組めた。教職員評価4以上)

③進んであいさつができ、めあてをもち、好んで運動に取り組める子を育てる。
(自分アンケートで「進んであいさつができる」「運動が好きで、よく体を動かして遊ぶ」と全員の子が答えられる。)
(進んであいさつができ、めあてをもって、好んで運動ができる取り組みができた。教職員評価4以上)

④開かれた学校づくりに取り組む。
(保護者アンケートで「学校からの情報提供や連絡・相談に対する十分な満足度」を向上させる。)
(地域教材、人材の活用した授業等の取り組みができた。教職員評価4以上)

⑤支え合いや、やりがいのある職場づくりに取り組む。
(職場でお互いに支え合い、勤務時間の縮減に取り組めた。教職員評価4以上)

☆次の項目について、3段階で評価 (○十分達成できた ○達成できた △もう少し)

具体的な方策	評価の観点	評価	評価内容(○成果・△課題)
自分の考えをもち、意欲的に伝え学び合える授業に取り組む。 自分の考えをもち、伝え合い、学び合いを大事にした授業を展開する。 (学び合いやコミュニケーション能力を高める場面のある授業研究を全員1回以上) 個に応じた指導の工夫を図る。 (算数科において個々の弱みを支援するTT体制での指導) 朝の「にしきタイム」での基礎学力の定着と「家庭学習の進め方」の活用による家庭学習・自主学習の習慣化を図る。 読書活動の充実を図る。 (読書意欲がわく環境づくり、各学年での読書カード・記録の活用)	自分の考えを持ち、意欲的に発言していける場を大事にした授業を行うことができたか。	◎	○子どもたちは、自分の考えを詳しく伝えられるようになってきている。 ○先生・友だちの話をよく聞こうという習慣が身についてきていると感じている。 ○授業のねらいが明確で、事前の準備が十分なされている授業を積み重ねる中で、子どもも教師も伝え合い、学び合う力がついてきている。 ○子どもと同じように、自分自身もチャイムと同時に授業が始められるように心がけた。 ○取り出し授業をしてもらえるようになり、個に応じた対応をしてもらえるのでとてもうれしい。 ○図書委員会を中心に「読書の秋」の取り組みがあり、子どもたちの本に対する関心・意欲が高まったと思う。 △「伝え合い」をかなり意識した授業を心がけているので、子どもたちもずいぶん力がついてきているが、まだ反応するのに時間のかかる子もいるので、3学期もこだわっていきたい。 △家庭学習は習慣化しているが、自主学習についてはまだ何に取り組んだらよいか決められない児童もいる。 △忘れ物はほとんどないが、授業準備をすぐにできないところがある。担任の姿勢と共に3学期、改められるように取り組みたい。
	チャイムが鳴ったら授業の準備ができ、忘れ物がないか。	○	
	よく聞き、理解できているか。	○	
	自分の考えをもち、相手に伝わるように話すことができているか。	○	
	個に応じた基礎学力をつけることができたか。	◎	
家庭学習・自主学習が習慣化しているか。	◎		
読書に興味をもって、よく本を読んでいるか。	○		
自分のよさに気づき、互いに認め合い、ともに活動できる場を生かした活動に取り組む。 縦割り活動を生かした自主的な活動やコミュニケーション能力を高める活動の促進を図る。 (清掃、全校集会、運動会、全校校外学習など) 学級活動や全校集会を通して、互いに認め合い、思いを伝え合う集団をつくる。(朝の会、帰りの会、学級活動、全校集会等) 人やもの、できごととの出会いや、人の生き方に触れる体験活動を促進する。(地域学習の推進、ゲストティチャーの活用、外国人、異文化の交流)	縦割り班活動などを通して、学年を越えた児童のつながりができ、高め合っているか。	◎	○日頃の縦割り班での活動や全校集会での姿から、互いに認め合い、思いを伝え合える集団づくりができています。 ○集会発表のしらはぎタイムや清掃など、日頃のつながりに加え、みんな遊びもあり、学年間のつながりができていると思う。 ○学年発表、しらはぎタイム共にずいぶん成果が上がり、子ども同士をつなぐ場となっている。 ○集会でのしらはぎタイムが月を追うごとに充実してきていると感じる。 ○休み時間にたくさんの学年の子が入り交じって一緒に遊び、声をかけ合っている。この姿は本校ならではの、ように思う。
	集会や学活など認め合う場を多くし、互いに認め合う集団になっているか。	◎	
	出会いや体験活動を通して、豊かな心が育っているか。	◎	

進んであいさつができ、めあてをもち、好んで運動に取り組める子を育てる。	学年に応じてめあてをもって運動に取り組める工夫をする。	めあてをもち、運動に意欲的に取り組んでいるか。	◎	○朝、ほとんどの児童が元気にあいさつできている。 ○顔を見て挨拶できる子が増えてきた。 ○ともだちのがんばりを認めたり、刺激を受けて意欲的に取り組んでいる。 △個々にはよく運動しているが、1学期の反省にあった「弱み」となる点についての「全校取り組み」を実施できるとよい。 △2学期後半は、体力づくりに関わってのめあてをもたすことができなかったが、なわとびをするようになって回数等でめあてをもたせている。 △人に届く声でのあいさつ、目を見てのあいさつまで高めていきたい。
	朝の声かけ、あいさつを児童会活動で取り組む。	進んであいさつができていますか。	○	
開かれた学校づくりに努める。	月1回の授業参観、学校・学年だよりの発行や毎日のHPの更新による発信と保護者からの意見の収集方法の工夫（家庭訪問、アンケート、学校評価等）に取り組む。	教育活動や子どもの様子を、学校・学年だよりで定期的に伝えることができたか。	◎	○各種のたよりで、様子や活動を伝える努力がなされている。 ○どの学年も、学校での様子をこまめに伝えることができている。 ○何かあれば家庭訪問をして話し合うということが、どの学年もできていると思う。 ○丁寧に家庭訪問がなされている。
		必要に応じて家庭訪問をすることができたか。	◎	
	地域の素材を生かした教材化を図り、児童に地域への知識関心をもたせることができたか。	○		
	地域の人々に参加してもらって授業づくりをし、教育的効果を上げることができたか。	○		
地域の人材の活用と地域教材での学習の充実（地域人材バンクの再構築）				

【学校関係者評価委員会より】

○学校経営計画の中、重点的な取り組み事項においてかなり高い達成度合いをされており、子どもたちの基礎学力や健康づくりにも努力をされている。また仲間としてのつながりや情操教育において保護者から高く評価されていることは非常に喜ばしいことである。今後とも継続した取り組みを要望する。

○学校統合を控え、交流活動や学習を通じ、錦生の子どもたちが自信と誇りをもって統合を迎えられるようお願いしたい。また、錦生の子どもたちのよさを生かし、「しらはぎタイム」や「学年発表」等を通じ、他を認めると共に積極的に自分の思いや考えを出せるよう取り組みをお願いしたい。

○来年度は統合を控えて最終年度となるため、交流活動等を行うなど、子どもたちが安心して新設校へ行けるよう取り組みをお願いしたい。

来年度に向けて

☆本年度の反省をふまえ、来年度の方向性を検討しました。

○一人ひとりの子どもたちに適切な対応（指導が）できるよう、来年度も引き続いてT・Tの活用や学習方法の工夫などを行う。

○縦割り班での活動や全校集会を継続することで、学年を超えて学校全体がつながってきている。今後も清掃活動・全校集会等を通して全校のつながりを深め、責任感や思いやりの心を育てていく。

○地域の「ひと」「もの」「こと」から学ぶ活動を積極的に取り入れ、地域のすばらしさを知り、大切に思う気持ちを育てる。

○子どもたちが安心して新設校へ移行できるよう、赤目小学校との交流を計画的に実施する。